

2010年度 第11回 洛和会音羽病院治験審査委員会

【会議の記録の概要】

開催日時	2011年2月10日(木) 15:37~16:55
開催場所	洛和図書館 会議室
主席委員名	金地研二、榎堀徹、川口晶子、佐原敏之、大江睦人、知原信行、橋本靖弘、高山明
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題① クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社の依頼によるアルツハイマー型認知症患者を対象とした Solanezumab の第Ⅲ相試験(継続) これまで得られている非臨床試験・臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題② 第一三共株式会社の依頼による SUN Y7017 (メマンチン塩酸塩) の製造販売後臨床試験 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題③④⑤ MSD株式会社の依頼によるアテローム性動脈硬化症の既往を有する患者を対象とした SCH 530348 の第Ⅲ相試験 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 実施医療機関で発現した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑥ 第一三共株式会社の依頼による骨粗鬆症患者を対象とした AMG162 (denosumab) の第Ⅲ相試験 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑦ ファイザー株式会社の依頼によるアポリポタンパク E_ε4 を有するアルツハイマー型認知症患者を対象とした AAB-001 の第Ⅲ相試験 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 契約期間の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 実施医療機関での治験期間が前回の報告から1年を経過するため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。</p>

	<p>審議結果：承認</p> <p>議題⑧ ファイザー株式会社の依頼によるアポリポタンパク E_ε 4 を有さないアルツハイマー型認知症患者を対象とした AAB-001 の第Ⅲ相試験 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑨ クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社の依頼によるアルツハイマー型認知症患者を対象とした Solanezumab (LY2062430) の第Ⅲ相試験 実施医療機関で発現した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑩ 大塚製薬株式会社の依頼によるパーキンソン病患者を対象とした SPM 962 の第Ⅲ相試験（継続長期） 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑪ 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による中等症持続型喘息患者を対象とした Ba679BR RespiMat（チオトロピウム吸入液）の第Ⅲ相試験 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑫ 第一三共株式会社の依頼による急性冠症候群患者を対象とした CS-747S の第Ⅲ相試験 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p>
特記事項	<p>議題③④⑤：当 IRB 設置医療機関を含む 2 施設（3 診療科）からの審議依頼による（但し、実施医療機関で発現した重篤な有害事象についての審査は 1 施設（1 診療科）のみ）</p>